

# 行政判例の形成と法曹養成

## －法科大学院で何を修得すべきか－

### 講演者 岡田正則氏

早稲田大学大学院法務研究科教授  
司法試験考査委員(行政法) 行政書士試験委員 日本学会議連携会員  
国立国会図書館事務文書開示審査会委員(会長代理)  
世田谷区情報公開・個人情報保護審査会委員(会長)

- ◆日時 平成24年11月28日(水)17:00～
- ◆会場 駒澤大学法科大学院502教室
- ◆定員 80名(無料・当日先着順で受付)

おかだ まさのり

#### 岡田正則氏 プロフィール

##### 【経歴】

早稲田大学大学院法学研究科修了後、金沢大学助教授、南山大学教授などを経て、2006年より現職。

##### 【研究テーマ】

行政救済制度の形成史、公法理論史、社会保障行政法、環境行政法。今年度、『国の不法行為責任と公権力の行使－国家賠償制度形成史研究』(弘文堂)を公刊する予定。

##### 【最近の著書、論文等】

<著書> 『経済行政法の理論』(共編著)日本評論社、2010年

<訳書> 『ドイツ環境法』成文堂、2012年

<論文> 「公法学における歴史研究の意義－近代的な「時間」の観念と立憲主義・法治国家」公法研究 73号(2011年)

「公法学と法実務・基礎法学」法律時報 84巻3号(2012年)

「地方自治とナショナルミニマム－社会保障における国家・社会・個人」井上英夫ほか編『新・社会保障法講座(第3巻)』法律文化社(2012年)所収

駒澤大学法科大学院・駒澤大学司法研究所 共催

【お問い合わせ先】

駒澤大学教務部法科大学院係・司法研究所事務室  
〒154-0012 世田谷区駒沢 2-12-5  
TEL 03-5712-4703・4776